奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

2021-2022

第 16 回例会

ＲＩテーマ　奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES
クラブテーマ　心はひとつ　One for all,all for one
「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

会　報　No. 1164　豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42　豊橋商工会議所内　TEL 0532-56-8566　FAX 0532-39-7520
会長：齊藤伸明、副会長：平野正博、幹事：水谷朱美、出席・会報委員長：坂牧博美

令和 3 年 12 月 15 日(水) 12:30～13:30
例会場:ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ･グレイスA
担当:国際奉仕

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」: 白井 康仁 さん

ゲスト　公益財団法人豊橋国際交流協会　次長　竹岡　美代子 氏

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	12 月 1 日修正出席率	ビジター
52 名	48 名	6 名	11 名	77.08%	87.23%	0 名

会長挨拶　齊藤 伸明 会長

12 月 10 日（金）に東三河分区第 2 回会長幹事会が　蒲郡クラシックホテルで行われました。本年度 IM は「笑いでコロナを吹っ飛ばそう」がテーマで落語家がきます。私の好きな落語家は、医者と 2 足のわらじの立川らく朝さんです。「健康落語」という新作落語を 50 作以上てがけ「笑いは病気を予防できる素晴らしい薬」と真剣に説いています。「笑い」が集中力の向上やストレス改善に効果があると確認さています。

本日のプログラム

「もっとグローバル、もっと住みやすい豊橋を」
公益財団法人豊橋国際交流協会
次長　竹岡　美代子 氏

協会の現在の様子、コロナ禍での外国人の様子をお話しさせて頂きます
当協会は平成元年 4 月、地域の国際交流を推進し、様々な国籍や多様な文化を背景とした人々がともに安心して暮らせる地域づくりを推進する事を目的に発足し、平成２５年４月に公益認定されました。令和３年まちなか図書館の隣に移転し、協会を今までしらなかった方々を巻き込んで事業を展開していくことを期待しています。

当協会の活動には４つの柱があり、一つは国際交流及び国際協力の活動を推進する事業、二つ目は外国人とともに暮らす多文化共生の地域づくりを推進する事業で、こちらは今特に力を入れている事業です。三つ目、人材の育成と市民活動の支援に関する事業、四つ目、情報を提供する事業です。これらの事業はともに「集う」、ともに「学ぶ」、ともに「交流する」、ともに「くつろぐ」、ともに「発見する」という５つのテーマを持っています。その上で、プレゼンスの高いロケーションで活動し、それぞれの活動を連携しより価値ある活動に出来たらと考えております。

現状、豊橋には 19,000 人近くの外国人がおり、20 数人に一人は外国人という状況です。新型コロナが流行する前は、言葉の問題からゴミ出しの問題、就職先の斡旋など、幅広い相談を受けていました。コロナ禍において、全国で帰国できない、就労できない、生活ができないといった問題が起きています。我々の窓口に相談に来る方々も生活費や資金繰りの相談などお金に関わる切実な相談ばかりになりました。豊橋は相談体制が割と整っていたのでそれを強化すると共に、ハローワーク等とも連携していますが、更なる連携が必要だと考えます。

情報弱者に向けて、インフォピア開設、ぽけとよオープン、外国人のための税務相談会等の活動を通して、意識啓発と社会参画支援をする事で外国人から豊橋人へなって行く事を今後も支援していきたいと考えています。

５分間スピーチ　後藤 秀成 さん

コロナ禍において、医療の分野も受診控えの影響を受けました。その間に進行してしまった実例も実際にありました。乳がん診療は今、温存、再建が多くなってきており、より個人に合わせた治療が進んでいる。遺伝子診療が保険化、保険診療で判断してくれる等複雑多様化している。乳腺がんは早期発見が大事です。1 年にか 2 年に一回は検診が必要ですので、周りの女性に伝えて頂ければと思います。

原稿：長本 康孝 さん／写真：鈴木 健嗣 さん